

育 Me 科 学習指導案「謝る」

○ねらい

謝り方のポイントを理解し演習することを通して、普段の自分の姿を振り返り、場面や状況に応じて相手に誠意や気持ちが伝わる謝り方を実践しようとする意識をもつことができる。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習内容「はっきり断ろう」をペアで確認する。 <p>2 学習内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データを提示する。(4枚) ・教師がモデリングを見せる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【場面】前日に友人と口論をした。自分が言い過ぎたことを伝え謝る。 「昨日のことやけど、俺が悪かった。ごめん。」</p> <p>①高圧的に、ぶっきらぼうに、目線を合わせず ②目を見て表情を作って一言で ③良い例</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・モデリングの謝り方を分析し、謝り方のポイントを理解する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>①相手の目を見る ②表情やしぐさを使う ③自分の過ちとその結果を伝える ④丁寧に話す</p> </div> <p>3 本時のめあての掲示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>相手に誠意や気持ちが伝わる謝り方をしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで確認する。 ・パターンをかえ、何度かモデリングをすることで、ポイントを生徒から引き出したい。 ・最後は良い例のモデリングをする。 ・ポイント③の例「自分が～(過ち)をしたために、あなたに～(結果)させてしまい…」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかりやすい伝え方」「非言語的コミュニケーション」を用いてペアで確認する。
展開	<p>4 演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人1組で活動を行う。(A:謝る B:謝られる C,D:評価) ・用意された複数の場面での謝り方を練習させる。役割を交代しながら順番にロールプレイをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【場面1】前日に友人に借りたものを返すのを忘れて今日まで持っていた。借りたものを返します。</p> <p>【場面2】友人が広めてほしくない情報を勝手に言い広めてしまった。友人はかなり悲しんで表情に元気が全くない。</p> <p>【場面3】友人と遊ぶ約束をすっかり忘れていた。LINEで「何してるの？約束の時間過ぎたけど…」とメッセージが来た。すぐに電話しよう。</p> <p>【場面4】待ち合わせの時間に15分遅れた。友人は待ち合わせ場所でずっと待っていてくれた。</p> <p>【場面5】今日が必切の書類を忘れてきた。まずは先生に謝罪する。</p> </div> <p>5 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数名の生徒に指定した場面で謝り方を実演させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子を教師が見届けながら、生徒にアドバイスを送る。 ・グループにそれぞれの場面を示したカードを配付する。裏返したカードを引き、示された場面でロールプレイをする。その後、役割を変え、再度カードを引いてロールプレイをする。 ・1場面につき4～5分程度で演習と評価、アドバイスをさせる。あわせて、相手の謝り方から、どんな気持ちになったか伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・謝られる側の態度(怒っている、悲しんでいる、など)にも注意を働かせる。 ・「上手に話を聴こう」「非言語的コミュニケーション」を用いて、グループ活動を行う。 ・ポイント②の表情も含めた非言語的コミュニケーションが有効になることを理解させたい。
まとめ	<p>6 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容と普段の生活における自分の姿を比較する。 ・振り返りを記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【出口での生徒の意識】</p> <p>「自分が普段している謝り方では、相手がいい気分で受け止めてくれていなかったかもしれない。今後は～のポイントに気をつけたい。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットに記入する。 QRコードを提示する。 	